

令和 6 年度草津市防災会議 会議録

■日時：

令和 6 年 12 月 27 日（金）10 時 00 分～11 時 00 分

■場所：

草津市役所 8 階大会議室

■出席委員：

橋川会長、谷委員（代理 斎藤氏）、池田委員、四谷委員（代理 岩崎氏）、荒川委員、松尾俊彦委員、松永委員、松尾晶子委員、藤田委員、井口委員、山内委員、西村委員（代理 佐野氏）、岩井委員、奥田委員（代理 角南氏）、上野委員、長谷川委員、福山委員、佐々木委員、森田委員、岩井委員、大塚委員、高口委員、坂委員

■欠席委員：

川上委員、木原委員、出口委員、山本委員

■事務局：

危機管理課 川元課長、家田課長補佐、松岡副係長、伴主査、小川主事

■傍聴者：

0 名

1. 開会

2. 会長あいさつ

【会長】

本日は、大変お忙しい中、御出席をいただきまして誠にありがとうございます。

委員の皆様には、日頃から本市の防災行政をはじめ市政全般にわたり御理解と御協力をいただいておりますことに、改めて厚くお礼申し上げます。

さて、本年発生した災害を振り返りますと、皆様御存じの通り、元日に令和 6 年能登半島地震が発生しました。地震災害からの復旧のさなか、豪雨災害が起こり、復興の兆しが見えてきた中での水害により再び多数の尊い人命が失われました。また、8 月には、宮崎県日向灘で最大震度 6 弱を観測した地震を受けて、南海トラフ地震臨時情報が初めて発令されました。

市民の生命、財産を守る日ごろの備えとして、本年度、本市におきましては、トイレトレ

ーラー、備蓄品の充実、新たな避難所指定等に取り組み、ハード、ソフト両面から災害への備えを強化してまいりました。

今後も、本日お集りの皆様と力を合わせ、さらに安全で安心して暮らせるまちの実現に向け、各種取組に全力で取り組んでまいりますので、皆様の更なる御協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、本日の会議では、草津市国土強靱化地域計画の改訂および草津市地域防災計画改訂のスケジュール変更について、御審議いただきたいと思っております。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

3. 議題

(1) 草津市国土強靱化地域計画の改訂

【事務局】

<会議資料に基づいて説明>

【会長】

KPI はいつごろ設定する予定か。

【事務局】

草津市総合計画の取りまとめが2月、3月になると聞いており、同時期になる。

【会長】

パブリックコメントには間に合わないということか。

【事務局】

その通り。

【会長】

KPIの数値が固まったら委員に通知をお願いしたい。

委員から意見はあるか。

【R 委員】

22 ページの「関係行政機関等との連携体制の整備」について、NPO 等との連携を図る仕組みはあるのか。

【事務局】

民間事業者と応援協定を締結しており、例えば、災害が起きたらダンボールベッドを持ってきていただくなど、そういった連携を想定している。

【R 委員】

日常的に打ち合わせや確認、情報共有などもされているのか。

【事務局】

毎年、草津市総合防災訓練を開催し連携の確認をさせていただくほか、社会福祉協議会やボランティア団体と災害ボランティアセンターの運営訓練を行うなど、連携の確認を行っている。

【R 委員】

22 ページの「非常用物資の備蓄促進」について、先日、防災倉庫の中を確認したところ、水がなかった。備蓄のリストや基準はあるのか。

【事務局】

水については、防災倉庫の収容能力に限界があることから、一旦西消防署にある防災倉庫で集中管理をしている。

その他、投光器、発電機等の発災後すぐに必要となる備品については、各地域の防災倉庫に保管している。

【R 委員】

発電機等は市民が作動させてもよいのか。

【事務局】

御相談いただければ資機材の取り扱い方法を訓練させていただく。

【R 委員】

25 ページの「要配慮者対策の推進」について、個別避難計画の作成までは言及していないのか。

【事務局】

一つ上の箇条書きで記載している

【R 委員】

30 ページの「防災 DX の推進」について、抽象的で分かりにくいので、もう少し具体的に書けないか。

【事務局】

デジタル活用については、新たに取り入れた項目であり、今後内容を検討する予定。

例えば、マイナンバーカードを活用した避難所運営など着目してはいるが、マイナンバーカードのパスワードが分からず混乱したケースもあると聞いており、様々な課題が出てきているので、精査しながら本市において取り入れるべきところは取り入れていきたい。

現在は、情報発信の一元化などを検討しており、国、県の動きも踏まえて実施していきたい。

【会長】

今おっしゃったことをイメージできるよう記載いただきたい。

【R 委員】

Open Street Map というものがあり、東日本大震災のときに有用であったと聞いているので、小学校の総合教育に取り入れるなど検討いただきたい。

【P 委員】

DX について、住民の安否確認や備蓄の在庫確認の他、避難所の空きなどが情報発信できる仕組みがあれば、便利だと思う。

あと、計画の文言には関わりがないと思うが、ニュースなどを見ていると台湾の避難所で参考になるような仕組みがあったので取り入れていただくことを検討いただきたい。

【事務局】

DX の活用について、もう少しイメージできるような形で修正させていただく。

【T 委員】

災害時に高齢者やマンション住民などあらゆる人が情報をキャッチできるような仕組みを検討いただきたい。

【事務局】

災害時は、避難所や地域まちづくりセンターが情報発信拠点になるので、各地域と連携するとともに、地域の中で情報を共有できるようなネットワークの構築に取り組んでいきたい。

【B 委員】

25 ページの「浸水対策の推進」について、河川管理者による対策は記載されているが、地下道の冠水に対する対策も検討いただきたい。

28 ページの「緊急輸送道路などネットワークの整備」について、電柱の地中化を県で進めているので、貴市でも検討いただきたい。

23 ページの「住宅・建築物などの耐震対策」について、緊急輸送路の沿線にある住宅の耐震化を進めていただけると、もしもの時の対応が早まるので、検討いただきたい。

【事務局】

個別の具体的な取組に関しては、地域防災計画の見直しに合わせて検討してまいりたい。

【会長】

本文の修正含めて検討いただき、結果を委員に通知いただきたい。

【A 委員】

28 ページの「道路啓開体制の整備」について、9 月に滋賀県道路啓開計画が策定されているので、内容確認の上、一文加えていただきたい。

3. 議題

(2) 草津市地域防災計画改訂のスケジュール変更

【事務局】

<会議資料に基づいて説明>

【会長】

意見が無いようなので、事務局の説明どおり進めていただきたい。

本日の議題は終了したが、この機会に何か意見はないか。

【A 委員】

実際の災害を踏まえた内容にしていけば、幅広く興味を持っていただけるのではないかと。道路啓開計画は、能登半島地震が発生したとき、石川県では策定されておらず、近畿でも大阪、和歌山、兵庫しか策定されていない状態であった。一旦は作成したが、皆さんの御意見もいただきながら充実した内容にしていければと考えている。

【B 委員】

県地域防災計画は、能登半島地震を踏まえた見直しを行っているところ。また、県の地方

本部と各市町との連携についても議論しているところである。

4. 閉会

以上